

JR常磐線の広野—竜田駅間で始まった試運転。踏み切りなどの作動をチェックした
=10日前、楓葉町の木戸駅付近

再開へ試運転始まる



JR常磐線広野—竜田駅間再開に反対している国鉄水戸動力車労働組合(動労水戸)は10日、試運転開始に合わせ、JRいわき駅前周辺で抗議行動をした。動労水戸によると約100人が参加した。「労働者、利用者を原発の不測の事故や被ばくの危険にさらすこと認めない」などアピールしたほか、再開に向けた乗務員訓練に対し抗議の声を上げた。

常磐線広野—竜田駅間

JR東日本は10日、東京電力福島第1原発事故の影響で不通となつていてJR常磐線広野(広野町)—竜田駅(楓葉町)間(8・5キロ)で試運転を始めた。福島第1原発20キロ圏内の避難指示解除準備区域を列車が走るのは初めて。

竜田地区には楓葉町役場の町など調整している。信号や踏切の作動や走行のがあり、町は5月下旬にも帰町時期を判断する見通し。同区間の正式な運転再開時期についてJRは「楓葉町の帰町時期判断に合わせ再開する」と説明しており、6月1日にも運転再開する方向で労働組合や地元

の町など調整している。信号や踏切の作動や走行の安全性を確認したほか、車内では原子力規制庁の職員が線量を測定した。竜田駅近くの自宅に一時帰宅していた楓葉町の菜花久美子さん(72)は「電車が通り、6月1日にも運転再開する方向で労働組合や地元の町に戻ってきてくれてうれしい。これから住民帰還につながる」と期待を示した。

原子力規制庁によると、10日午後3時20分現在の竜田駅の放射線量は毎時0・17舒密だた。JR水戸支社によると、試運転は今後数十回行う予定。

常磐線の竜田—原ノ町(南相馬市)駅間は、再開の見通しが立っていない。

動労水戸が抗議行動

避難区域、初の列車運行

JR東日本は10日、東京電力福島第1原発事故の影響で不通となつていてJR常磐線広野(広野町)—竜田駅(楓葉町)間(8・5キロ)で試運転を始めた。福島第1原発20キロ圏内の避難指示解除準備区域を列車が走るのは初めて。

初の試運転は10日午前、4両編成の列車が広野駅を出発。通常よりも速度を落とし、竜田駅までの2駅間を約25分かけて走行した。

JR水戸支社によると、この日は3往復で試運転を実施。踏切には社員が待機し、

久美子さんは「電車が竜田駅近くの自宅に一時帰宅していた楓葉町の菜花久美子さん(72)は「電車が通り、6月1日にも運転再開する方向で労働組合や地元の町に戻ってきてくれてうれしい。これから住民帰還につながる」と期待を示した。